

Ⅱ．主な密輸入摘発事例

1．覚醒剤

【洋酒瓶内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成27年10月、横浜税関は、メキシコから到着した海上コンテナ貨物の検査において、液体に溶かしてテキーラ瓶1,026本に隠匿していた覚醒剤 約171kgを発見、摘発した。



【金属製タンク内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成27年3月、東京税関は、メキシコから到着した航空貨物の検査において、金属製タンク5本に隠匿していた覚醒剤 約44kgを発見、摘発した。



【コーヒー袋内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

平成27年11月、東京税関は、ウガンダから到着したウガンダ人男性の携帯品検査において、スーツケース内に収納のコーヒー袋25袋内に隠匿していた覚醒剤 約20kgを発見、摘発した。



【船員が携行リュックサック内に隠匿していた覚醒剤を摘発】

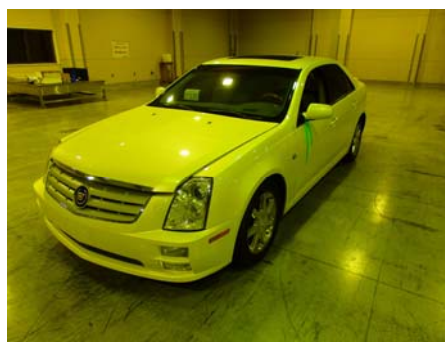
平成27年12月、神戸税関は、水島港に入港したナイジェリア来外国貿易船から下船したナイジェリア人乗組員の携帯品検査において、リュックサック内に隠匿していた覚醒剤 約6 kgを発見、摘発した。



2. 大麻

【車両後部座席背もたれ部分に隠匿していた大麻草を摘発】

平成27年2月、横浜税関は、米国から到着した海上コンテナ貨物の検査において、車両後部座席背もたれ部分に隠匿していた大麻草 約8 kgを発見、摘発した。



【まな板内に隠匿していた大麻樹脂を摘発】

平成27年4月、大阪税関は、米国から到着した小包郵便物の検査において、まな板内に隠匿していた大麻樹脂 約1 kgを発見、摘発した。



3. 麻薬

【国際スピード郵便物内に隠匿していた麻薬を摘発】

平成27年7月、門司税関は、中国から到着した国際スピード郵便物（EMS）の検査において、4-ヒドロキシ酪酸（通称“GHB”）を含有する液体 約75gを発見、摘発した。



4. 指定薬物

【黒色ボストンバッグ内に隠匿していた指定薬物を摘発】

平成27年11月、横浜税関は、中国から到着した中国人男性の携帯品検査において、黒色ボストンバッグ内に隠匿していた亜硝酸イソブチル及び亜硝酸イソペンチルを含有する液状物 約500gを発見、摘発した。

